

種目【音楽（器楽合奏）】（1/1）

調査内容	17 教出	27 教芸																																																																																																										
1- (1) ・音楽の多様性の理解につながる、取り扱う楽器、楽曲の分量 ・創意工夫することや味わって聴くことを促す学習内容 ・音楽に親しんでいく態度を養う、楽器関連情報の内容と掲載状況	<p>■楽器別楽曲数 ※曲名がある表現教材</p> <table border="1"> <tr> <th>リコーダー</th> <th>ギター</th> <th>篠笛</th> <th>尺八</th> <th>箏</th> <th>三味線</th> <th>太鼓</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>20</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>37</td> </tr> </table> <p>■創意工夫・味わって聴く</p> <table border="1"> <tr> <td>表現の仕方を調べてみよう</td> <td>2か所 (p30・55)</td> </tr> </table> <p>・音楽を形づくっている要素(音色等)を手掛かりに比較鑑賞し、共通性や固有性を考え、整理するための表を掲載</p> <p>■楽器関連情報の内容と掲載状況</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>リコーダー</th> <th>ギター</th> <th>篠笛</th> <th>尺八</th> <th>箏</th> <th>三味線</th> <th>太鼓</th> </tr> <tr> <td>演奏家のメッセージ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>郷土の祭や芸能写真</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>種類・演奏形態写真</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table> <p>・巻頭資料：教科書で取り扱う内容の写真と関連頁を掲載 ・巻頭資料：ストリート・ピアノを掲載</p>	リコーダー	ギター	篠笛	尺八	箏	三味線	太鼓	合計	20	5	5	1	5	1	0	37	表現の仕方を調べてみよう	2か所 (p30・55)		リコーダー	ギター	篠笛	尺八	箏	三味線	太鼓	演奏家のメッセージ	○	○	○	○	○	○	○	郷土の祭や芸能写真							○	種類・演奏形態写真	○		○	○			○	<p>■楽器別楽曲数 ※曲名がある表現教材</p> <table border="1"> <tr> <th>リコーダー</th> <th>ギター</th> <th>探籠</th> <th>篠笛</th> <th>尺八</th> <th>箏</th> <th>三味線</th> <th>太鼓</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>14</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>25</td> </tr> </table> <p>■創意工夫・味わって聴く</p> <table border="1"> <tr> <td>学びのコンパス</td> <td>4か所 (p17・55・81・85)</td> </tr> </table> <p>・音楽を形づくっている要素(音色、テクスチュア、構成等)を手掛かりに表現を創意工夫するための学習の流れを掲載</p> <p>■楽器関連情報の内容と掲載状況</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>リコーダー</th> <th>ギター</th> <th>探籠</th> <th>篠笛</th> <th>尺八</th> <th>箏</th> <th>三味線</th> <th>太鼓</th> </tr> <tr> <td>演奏家のメッセージ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>郷土の祭や芸能写真</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>種類・演奏形態写真</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>・太鼓の導入頁に古川祭の起し太鼓(岐阜県飛騨市)を掲載 ・巻頭資料：演奏家、音楽批評家のメッセージを掲載</p>	リコーダー	ギター	探籠	篠笛	尺八	箏	三味線	太鼓	合計	14	2	0	2	1	4	1	1	25	学びのコンパス	4か所 (p17・55・81・85)		リコーダー	ギター	探籠	篠笛	尺八	箏	三味線	太鼓	演奏家のメッセージ				○	○	○	○	○	郷土の祭や芸能写真				○				○	種類・演奏形態写真	○	○	○	○	○	○	○	○
リコーダー	ギター	篠笛	尺八	箏	三味線	太鼓	合計																																																																																																					
20	5	5	1	5	1	0	37																																																																																																					
表現の仕方を調べてみよう	2か所 (p30・55)																																																																																																											
	リコーダー	ギター	篠笛	尺八	箏	三味線	太鼓																																																																																																					
演奏家のメッセージ	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																					
郷土の祭や芸能写真							○																																																																																																					
種類・演奏形態写真	○		○	○			○																																																																																																					
リコーダー	ギター	探籠	篠笛	尺八	箏	三味線	太鼓	合計																																																																																																				
14	2	0	2	1	4	1	1	25																																																																																																				
学びのコンパス	4か所 (p17・55・81・85)																																																																																																											
	リコーダー	ギター	探籠	篠笛	尺八	箏	三味線	太鼓																																																																																																				
演奏家のメッセージ				○	○	○	○	○																																																																																																				
郷土の祭や芸能写真				○				○																																																																																																				
種類・演奏形態写真	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																				
1- (2) ・系統的、発展的に学ぶための、アンサンブル曲等の編成と分量	<p>■アンサンブル曲：編成別楽曲数</p> <table border="1"> <tr> <th>リコーダー</th> <th>+伴奏等</th> <th>和楽器</th> <th>体等</th> <th>楽器選択</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>8</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>20</td> </tr> </table> <p>・伴奏等には伴奏・低音を含み、体等には体・歌を含む ・難易度によりLet's Play!とLet's Try!に分けて掲載</p> <p>■名曲旋律：楽器別楽曲数 ※ソロ曲</p> <table border="1"> <tr> <th>リコーダー</th> <th>和楽器</th> <th>ギター</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>7</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>9</td> </tr> </table> <p>・各旋律の解説を掲載</p>	リコーダー	+伴奏等	和楽器	体等	楽器選択	合計	8	3	6	2	1	20	リコーダー	和楽器	ギター	合計	7	1	1	9	<p>■アンサンブル曲：編成別楽曲数</p> <table border="1"> <tr> <th>リコーダー</th> <th>+伴奏等</th> <th>ギター</th> <th>和楽器</th> <th>体等</th> <th>楽器選択</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>17</td> </tr> </table> <p>・伴奏等には低音・ギターを含み、体等には体・旋律を含む ・表現を創意工夫するためのコラムを掲載</p> <p>■名曲旋律：楽器別楽曲数 ※ソロ曲</p> <table border="1"> <tr> <th>リコーダー</th> <th>和楽器</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>5</td> <td>4</td> <td>9</td> </tr> </table> <p>・箏曲は、ポピュラー音楽を縦譜で掲載</p>	リコーダー	+伴奏等	ギター	和楽器	体等	楽器選択	合計	4	4	1	2	3	3	17	リコーダー	和楽器	合計	5	4	9																																																																		
リコーダー	+伴奏等	和楽器	体等	楽器選択	合計																																																																																																							
8	3	6	2	1	20																																																																																																							
リコーダー	和楽器	ギター	合計																																																																																																									
7	1	1	9																																																																																																									
リコーダー	+伴奏等	ギター	和楽器	体等	楽器選択	合計																																																																																																						
4	4	1	2	3	3	17																																																																																																						
リコーダー	和楽器	合計																																																																																																										
5	4	9																																																																																																										
1- (3) ・複数の領域や分野を関連させた題材を構想するための、創作や鑑賞教材の分量	<p>■創作教材数と鑑賞教材数</p> <table border="1"> <tr> <th>創作教材「音のスケッチ」</th> <th>鑑賞教材「聴いてみよう」</th> </tr> <tr> <td>5か所 (p46・72・74・81・96)</td> <td>11曲</td> </tr> </table> <p>・日本の音階を使った旋律の創作や、音色を生かした構成の工夫を、手順とともに掲載</p>	創作教材「音のスケッチ」	鑑賞教材「聴いてみよう」	5か所 (p46・72・74・81・96)	11曲	<p>■創作教材数と鑑賞教材数</p> <table border="1"> <tr> <th>創作教材「My Melody」</th> <th>鑑賞教材(参考曲5曲含)</th> </tr> <tr> <td>1か所 (p43)</td> <td>15曲</td> </tr> </table> <p>・日本の音階を使った旋律の創作を、手順とともに掲載 ・8~9頁に、各教材で扱うことのできる学習内容を掲載</p>	創作教材「My Melody」	鑑賞教材(参考曲5曲含)	1か所 (p43)	15曲																																																																																																		
創作教材「音のスケッチ」	鑑賞教材「聴いてみよう」																																																																																																											
5か所 (p46・72・74・81・96)	11曲																																																																																																											
創作教材「My Melody」	鑑賞教材(参考曲5曲含)																																																																																																											
1か所 (p43)	15曲																																																																																																											
2- (1) ・個人の進度に即して学ぶための、楽曲の配列の特徴	<p>■リコーダー曲の配列</p> <table border="1"> <tr> <td>タンギング／一つの音で吹いてみよう</td> <td>1曲</td> </tr> <tr> <td>左手で吹こう①</td> <td>1曲</td> </tr> <tr> <td>左手で吹こう②</td> <td>4曲</td> </tr> <tr> <td>右手を加えてみよう</td> <td>4曲</td> </tr> <tr> <td>サミング</td> <td>4曲</td> </tr> <tr> <td>音域を広げよう+深めてみよう</td> <td>4曲</td> </tr> <tr> <td>アーティキュレーション+深めてみよう</td> <td>2曲</td> </tr> </table> <p>・ソプラノリコーダー用に楽曲を転調して掲載 ・ソプラノリコーダーとアルトリコーダーの運指を掲載</p>	タンギング／一つの音で吹いてみよう	1曲	左手で吹こう①	1曲	左手で吹こう②	4曲	右手を加えてみよう	4曲	サミング	4曲	音域を広げよう+深めてみよう	4曲	アーティキュレーション+深めてみよう	2曲	<p>■リコーダー曲の配列</p> <table border="1"> <tr> <td>レッスン1 左手による運指</td> <td>3曲</td> </tr> <tr> <td>レッスン2 両手による運指</td> <td>3曲</td> </tr> <tr> <td>レッスン3 サミング</td> <td>4曲</td> </tr> <tr> <td>レッスン4 高い音、#やbの付く音</td> <td>4曲</td> </tr> </table> <p>・アーティキュレーションをレッスン1で扱う ・「吹いてみよう」として、短い旋律を別途掲載 ・QAとして、生徒がつまづきやすい課題と解決策を掲載 ・ソプラノリコーダー用に楽曲を転調して掲載 ・アルトリコーダーの運指を掲載</p>	レッスン1 左手による運指	3曲	レッスン2 両手による運指	3曲	レッスン3 サミング	4曲	レッスン4 高い音、#やbの付く音	4曲																																																																																				
タンギング／一つの音で吹いてみよう	1曲																																																																																																											
左手で吹こう①	1曲																																																																																																											
左手で吹こう②	4曲																																																																																																											
右手を加えてみよう	4曲																																																																																																											
サミング	4曲																																																																																																											
音域を広げよう+深めてみよう	4曲																																																																																																											
アーティキュレーション+深めてみよう	2曲																																																																																																											
レッスン1 左手による運指	3曲																																																																																																											
レッスン2 両手による運指	3曲																																																																																																											
レッスン3 サミング	4曲																																																																																																											
レッスン4 高い音、#やbの付く音	4曲																																																																																																											
2- (2) ・学習評価の手掛かりとなる目標や活動内容等の示し方と分量	<p>■箏の学習の目標、活動内容等</p> <table border="1"> <tr> <th>目標(題材)</th> <th>活動内容</th> <th>まとめの曲</th> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4項目</td> <td>3曲</td> </tr> </table> <p>・段階的に目標を設定</p>	目標(題材)	活動内容	まとめの曲	3	4項目	3曲	<p>■箏の学習の目標、活動内容等</p> <table border="1"> <tr> <th>目標(学習目標)</th> <th>活動内容</th> <th>練習・演奏・唱歌のポイント</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>8項目</td> <td>7か所</td> </tr> </table> <p>・目標に即して指導可能な音楽を形づくっている要素を掲載</p>	目標(学習目標)	活動内容	練習・演奏・唱歌のポイント	1	8項目	7か所																																																																																														
目標(題材)	活動内容	まとめの曲																																																																																																										
3	4項目	3曲																																																																																																										
目標(学習目標)	活動内容	練習・演奏・唱歌のポイント																																																																																																										
1	8項目	7か所																																																																																																										
2- (3) ・二次元コードの数と掲載内容の分類の傾向	<p>■分類別二次元コード数</p> <table border="1"> <tr> <th>見る</th> <th>聴く</th> <th>知る</th> <th>その他</th> <th>コード総数</th> </tr> <tr> <td>17</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>24</td> </tr> </table> <p>・関係箇所直近に掲載</p>	見る	聴く	知る	その他	コード総数	17	3	2	2	24	<p>■分類別二次元コード数 ※2項目を扱うコード2点</p> <table border="1"> <tr> <th>動画</th> <th>音源</th> <th>創作ツール</th> <th>嫌ワガト</th> <th>その他</th> <th>コード総数</th> </tr> <tr> <td>18</td> <td>14</td> <td>1</td> <td>11</td> <td>2</td> <td>44</td> </tr> </table> <p>・関係箇所右側頁の右下を中心に掲載</p>	動画	音源	創作ツール	嫌ワガト	その他	コード総数	18	14	1	11	2	44																																																																																				
見る	聴く	知る	その他	コード総数																																																																																																								
17	3	2	2	24																																																																																																								
動画	音源	創作ツール	嫌ワガト	その他	コード総数																																																																																																							
18	14	1	11	2	44																																																																																																							
3- (1) ・教科書の判の大きさ、総ページ数、重量	<p>■大きさ、ページ数、重量</p> <table border="1"> <tr> <th>大きさ</th> <th>ページ数</th> <th>重量</th> </tr> <tr> <td>A4変型判(210×260)</td> <td>107</td> <td>219g</td> </tr> </table>	大きさ	ページ数	重量	A4変型判(210×260)	107	219g	<p>■大きさ、ページ数、重量</p> <table border="1"> <tr> <th>大きさ</th> <th>ページ数</th> <th>重量</th> </tr> <tr> <td>AB変型判(210×260)</td> <td>107</td> <td>221g</td> </tr> </table>	大きさ	ページ数	重量	AB変型判(210×260)	107	221g																																																																																														
大きさ	ページ数	重量																																																																																																										
A4変型判(210×260)	107	219g																																																																																																										
大きさ	ページ数	重量																																																																																																										
AB変型判(210×260)	107	221g																																																																																																										
3- (2) ・楽譜や図、写真の示し方、教科書の構成や頁のレイアウト等の配慮	<p>■楽譜や図、写真の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>五線譜のプレス記号を「,」で表示</li> <li>箏の楽譜として、五線譜と生田流の縦譜を使用</li> <li>ギターのコードの押さえ方を、手元を拡大した写真で提示</li> <li>篠笛の姿勢と構え方を、上半身の写真と、手元と口元を正面と横向きから拡大した写真で提示</li> </ul> <p>■教科書の構成や頁のレイアウト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>管楽器、弦楽器、打楽器の順に掲載し、章ごとにインデックスで色分け</li> </ul>	<p>■楽譜や図、写真の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>箏の楽譜として、五線譜と家庭式縦譜を使用し、縦譜の背景を薄いページで着色</li> <li>ギターのコードの押さえ方を、鏡写しの向きの図で提示</li> <li>篠笛の姿勢と構え方を、全身の写真と、手元と口元を拡大した写真で提示</li> </ul> <p>■教科書の構成や頁のレイアウト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>西洋楽器、和楽器の順に掲載し、章ごとにインデックスと帯で色分け</li> </ul>																																																																																																										
3- (3) ・目次の特徴、資料の内容	<p>■目次の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>章のまとまりごとに配置し、項目の前に頁数を表示</li> <li>「+深めてみよう」、「音のスケッチ」、「鑑賞教材」をカラーアイコンで表示</li> </ul> <p>■資料の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「リコーダーの運指表」、「ギター&amp;キーボード コード表」を折込頁で掲載</li> <li>「発展」として章末に掲載されている「吹く楽器の仲間たち」、「弾く楽器の仲間たち」において、世界の諸民族の楽器の素材や分布(世界地図上)を紹介</li> </ul>	<p>■目次の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>章を縦向きに揃えて配置し、項目の後ろに頁数を表示</li> <li>「学びのコンパス」、アンサンブルの編成楽器をカラーアイコンで表示</li> </ul> <p>■資料の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「リコーダーの運指表」、「ギター/キーボード コード表」を見開きで掲載</li> <li>器楽の可能性を伝えるための「バンドの世界をのぞいてみよう」、「伝統の枠を超えて活躍する和楽器」、和楽器合奏に取り組む中学生へのインタビューを掲載</li> </ul>																																																																																																										

